

文章表現 課題

2025 年の商業施設士資格試験・構想表現（実技）試験、**文章表現**は、以下の内容などをもとに、試験時間内（180 分）に文章や図表を用いて表現する課題となっています。

グローバル世界は不安定な状態であるものの、日本のインバウンド客数は過去最高を更新し、その目的地は地方へも広がりをみせている。また、円安の影響などで物価上昇は著しいが国内消費の活性化に繋がっており、新しい店舗や商業施設の開業が続いている。その一方、建築費高騰の影響を受けて計画を見直す動きも出てきている。D X（デジタルトランスフォーメーション）の普及により時間・空間・距離の制約が取り払われ、利便性やサービスが向上し、日常生活や働き方も様変わりした。

このような状況をふまえ、今後、商店や商業施設などにおいては役割や在り方への変化が求められている。

出題される複数の問いより 3 つ選び、見聞・実践している事例をもとに、課題やアイデア等について記述する。

－ キーワード －

インバウンド対応施設	エネルギーコスト	エンターテインメント施設
コンバージョン	資材の高騰	脱炭素化
地域活性化	地域コミュニティ	防災
ロボット	A I	B I M
D X	S D G s	V R

[答案用紙：1,000 文字程度/1 枚（A4 判）× 3 枚]

注 i：その他の与条件については、試験日当日の構想表現（実技）試験時間内に問題用紙に記載して配布します。

注 ii：卓上計算機の使用は可となっていますが、携帯電話・スマートフォン・タブレット等の電子機器の中の計算機（電卓機能）は使用不可とします。

注 iii：その他試験に関する詳細は総合案内書をご覧ください。

注 iv：本紙は、試験時間中に試験室（決められた座席）に、携行することができません。